

News Letter

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184 <https://www.kokudo.or.jp>Japan Geographic Data Center
公益財団法人
国土地理協会

今号では、1998年12月に世界遺産に登録された「古都奈良の文化財」について、日本の歴史とともに紐解いていきたいと思います。

奈良は、784年まで日本の首都である平城京が置かれた場所で、日本で最も古い都市といわれています。世界遺産「古都奈良の文化財」を構成する8か所の文化遺産をご紹介します。

とうだいじ
東大寺

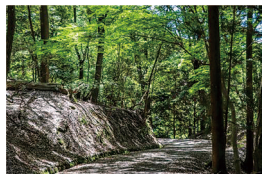
「奈良の大仏」で知られる華厳宗の大本山で、聖武天皇の発願により建立されました。大仏殿は戦乱で2回焼け、現在の大仏殿は1709年(江戸時代)に建てられた3代目です。正倉院も東大寺の一部として世界遺産に登録されています。



東大寺 鏡池から見た大仏殿と中門

かすが やま げん し りん
春日山原始林

春日大社の神山として1000年以上伐採が禁じられてきたため、貴重な原始林が残されています。国の特別天然記念物にも指定されています。



やくしじ
薬師寺

国宝の建造物を主とする寺院です。失われた建物を昭和・平成に再建し、奈良時代の寺の姿にみがえらせました。



へいじょうきゅうせき
平城宮跡

1922年に国の史跡に指定され、2022年に史跡指定100周年を迎えました。平城宮は天皇の住まいであり、政治も行われたところで、多くの建物跡や生活道具が地下に残っており、現在も少しずつ発掘調査が行われています。



平城宮跡 朱雀門

こうふくじ
興福寺

藤原氏の氏寺であり、法相宗の大本山です。2018年に301年ぶりに中金堂が再建されました。興福寺の五重塔は奈良のまちのシンボルです。



かすが たいしや
春日大社

768年に創建され、何世紀にも渡り再建された建物がたくさんあります。日本の本格的な神社の伝統を今に伝えています。森の中にあり、日本の神社が自然を神として大切にしてきたことがわかります。創建以来本殿は20年ごとに建て替えや修理が行われています。



がんどうじ
元興寺

蘇我馬子が建立した日本最古の本格的仏教寺院である法興寺を平城京へ移した寺院です。鎌倉時代の元興寺本堂と禅室には、飛鳥時代の瓦がリサイクルされていたそうです。



とうしょうだいじ
唐招提寺

鑑真和上が、戒律を学ぶための寺院として759年に創建したといわれ、今も創建当時の建物が残っています。



奈良公園を中心に生息する「奈良の鹿」はニホンジカ的一种であり、1957年に国の天然記念物に指定されています。鹿は古くから神の使いとして大切にされており、今も観光と地域の暮らしを結ぶ身近な存在です。



奈良公園の鹿

奈良の 難読地名

奈良県には古代から続く地名が多く、時代とともに発音や漢字の使い方が変化したため、現在の読み方と異なる難読地名が数多くあります。由来は諸説あるものが多いですが、その一部を紹介します。皆さんは、いくつ読めますか。

膳夫町 (糧原市) かしはら

古代の宮廷で食事を提供する役職に由来していると言われています。この地域は、古代日本の食文化に関連する地として、歴史的価値が高い場所です。(読み方：かしわてちょう)

忍辱山町 (奈良市) にんにく

仏教用語の「忍辱」に由来します。仏教と深い関わりを持つ地域で、周辺には歴史的な寺院が点在しています。(読み方：にんにくせんちょう)

三碓 (奈良市) うす いし うす

「碓」は石臼のことです。根聖院の境内にある、三つの穴が開いた石臼が関係していると言われています。奈良時代、聖武天皇がこの地に鳥狩りに来られ、この石臼を見て「三碓」の地名を与えたとの伝承が残っています。(読み方：みつがらす)

帯解 (奈良市)

安産祈願で有名な帯解寺の近くにあり、文徳天皇の皇后が無事に出産し「帯が解けた(安産が叶った)」ことにちなんでいます。(読み方：おびとけ)

飛養曾 (五條市) ごじょう

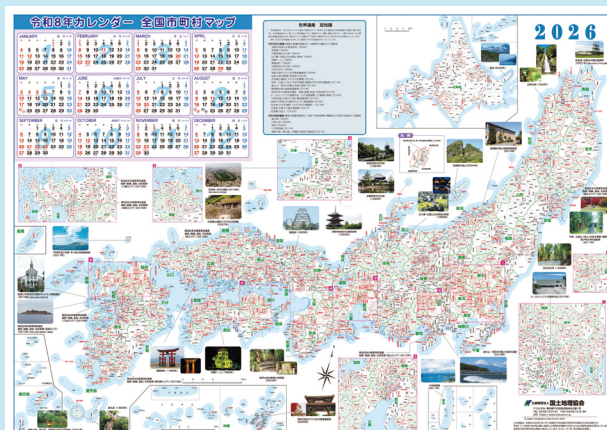
この地名は、かつての養蚕業に由来するという説があります。山間の静かな地域で、現在も自然豊かな風景が広がります。地元では長い歴史を持つ大切な地名とされています。(読み方：ひよそ)

十六面 (磯城郡田原本町) し き た わら もとちよう 能楽の発祥地の一つとされており、地元に住んでいた能楽師のところに、十六枚の面が落ちてきて、この面を御神体として祀ったのが市杵島神社だといわれています。この故事が由来の一つとされています。(読み方：じゅうろくせん)

曾爾村 (宇陀郡) う だ 1889年(明治22年)に8つの村が合併して誕生した村です。村の大半を山地が占め、漆塗り発祥の地として知られているほか、神話や伝説が多く残されています。曾爾の地名は「古事記」にも登場しています。(読み方：そにむら)

※弊会が毎年発行しているカレンダー付き「全国市町村マップ」では、日本にある世界遺産を写真付きで紹介しています。

「2026年全国市町村マップ」は弊会HP
(<https://www.kokudo.or.jp/service/calendar.html>)
にて無償配布のご案内をしております。

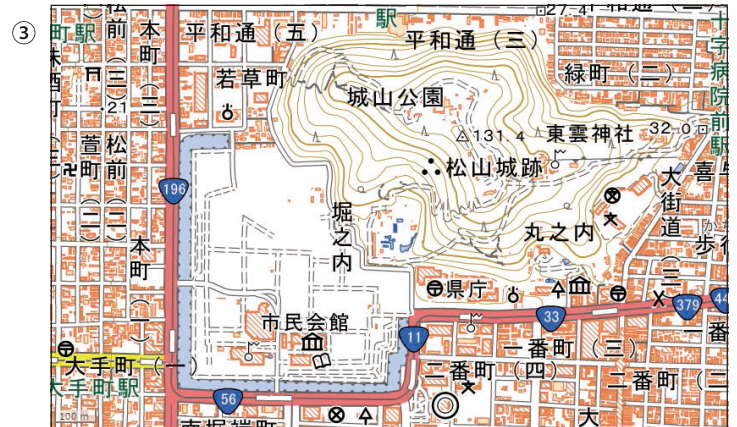
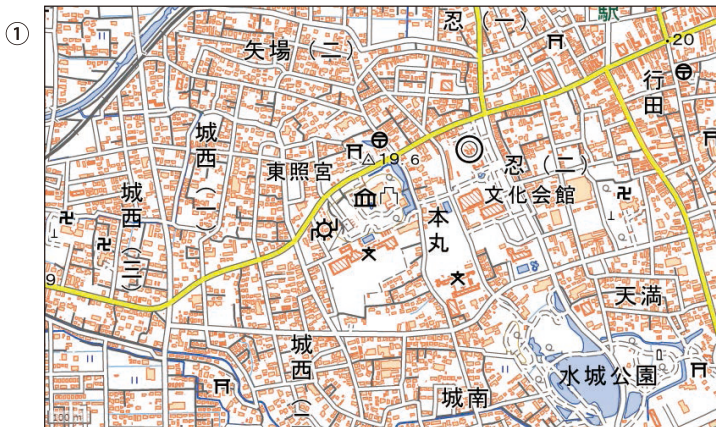


地図地理クイズ！

(第42回地図地理検定より出題)



左の写真は、ある城跡から市内を眺望したもので、写真内には市役所（右側のガラス張りの建物）も確認できます。景観写真を撮影した城跡が含まれる地理院地図を、後の①～④のうちから1つ選びなさい。なお、写真は正午ごろに撮影したものです。



この地図は、ある城跡から市内を眺望したもので、写真内には市役所（右側のガラス張りの建物）も確認できます。景観写真を撮影した城跡が含まれる地理院地図を、後の①～④のうちから1つ選びなさい。なお、写真は正午ごろに撮影したものです。

ニュースレター等に関するお問い合わせは

公益財団法人 国土地理協会 〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3番1号

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184

URL <https://www.kokudo.or.jp>

日本旅巡り ～沖縄編～

今回は沖縄から、雄大な自然美を通して琉球神話の物語を体感できるスポットをご紹介します。寒い日々が続きますが、身体も心もホットになる旅に出かけてみてはいかがでしょうか。

大石林山

沖縄本島の最北端、世界自然遺産に登録された「やんばる国立公園」内にある大石林山（現在は「アスムイ・スピリチュアル・ハイクス」に名称変更）は、約2億5千万年かけて形成された熱帯カルスト地形で、亜熱帯の緑が織りなす自然空間はパワースポットとして有名です。また大石林山は、琉球開闢の神が降り立たとされる聖地ともいわれています。最も有名な伝説は、神の世界（ニライカナイ）からアマミキヨという神が降りてきて、土石や草木を用いて琉球の島々を創ったと伝えられます（諸説あり）。また大石林山には、数千本ものガジュマル（沖縄では別名「多幸の木」）が茂っています。その中でも「御願ガジュマル」が有名で、樹齢は150～200年と推定されており、樹冠の広さが日本一とされるほどの圧倒的な大きさです。御願とは、沖縄の方言で「願い」や「祈り」を意味し、精霊が宿る木として知られ、非常に強いパワーを持つスピリチュアルスポットとしても知られています。



ガジュマルの巨木

ぶらっと寄り道

2025年7月、やんばるの森を活用した大自然テーマパーク「JUNGLIA OKINAWA (ジャングリア沖縄)」がオープンしました。想像を超えた興奮と感動を体験できるテーマパークが沖縄の地に登場しました。ぜひ足を延ばしてみてください。

第45回 地図地理検定のご案内

主催（一財）日本地図センター、（公財）国土地理協会

- (1) 試験日 : 2026（令和8）年6月14日（日）予定
- (2) 試験時間／問題数
地図地理検定（基礎）：13:30～14:20・全問択一式、100点満点
地図地理検定（専門）：15:00～16:00・択一式15問、記述式9問、100点満点
- (3) 実施都市 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
- (4) 受験資格 どなたでも受験できます。年齢等、一切の制限はございません。

前回の問題は
ココでチェック！

地図地理検定

検索

受験料

基本受験のほかにリピーター割引、学生割引、シニア割引等があります。5名以上なら団体受験もできます。

	地図地理検定（基礎）	地図地理検定（専門）	基礎・専門の併願
基本受験料	3,000円	4,000円	5,000円
各種割引	2,000円	3,000円	4,000円

詳しくは地図地理検定ホームページ (<https://www.jmc.or.jp/keihatsu-kyouiku/chizuken/>) をご覧ください。